

第3学年2組 保健体育科学習指導案

平成28年10月28日(金)

江津中学校柔道場

授業者 教諭 大屋 涼 (T1)

教諭 佐々尾 義明 (T2)

授業支援者 佐々木 一敬 (T3)

ゲストティーチャー 杉本 美香 (T4)

1. 単元名 武道「柔道」

2. 単元の目標

- (1) 柔道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 **【関心・意欲・態度】**
- (2) 自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見つけ、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 **【思考・判断】**
- (3) 相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技や連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開することができるようにする。 **【技能】**
- (4) 礼儀や、相手を尊重する態度、伝統的な行動の仕方等柔道の特性を理解するとともに、基本動作や対人的な技能の行い方、試合におけるルールや審判法などが理解できるようにする。 **【知識・理解】**

3. 学習の基盤

(1) 教材観

武道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化である。基本動作や基本となる動きを身につけ、相手の動きに応じて相手を攻撃したり、相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

柔道は、体格や体力に応じた技能を学ぶこともでき、相手の力をうまく利用しながら技を競い合うところにも楽しさがある。相互に闘志をもち、自己の能力を発揮して技能を競い合う必要があるが、勝敗にこだわりすぎると規則や行動の仕方に正しさを欠く傾向がある。したがって、互いの激しい闘志を適切に制御しながら、相手を尊重し、公正な態度で勝敗を争う行動が要求される。そのため、単に技能の競い合いによる勝利の喜びを求めるだけでなく、伝統的な礼法や相手を尊重する態度を身につける必要がある。

(2) 生徒観

…<個人情報保護のため省略>…

(3) 指導観

本単元では、はじめに基本動作と受け身、既習技の復習を行う。その後、技の連絡を中心に技能の習得を図る。後半は、自己の得意技を見つけ、試合で実践的に発揮できるよう相手の動きに対応した投げ技と受け身を身につけさせたい。そのために第3学年では、次のようなことに重点を置いて授業を行っていく。

第一に、言語活動を充実させ、活動中に気づいたことをアドバイスし合えるように各授業場面でグループ活動を取り入れることである。ICT 機器を活用したり、学習カードを活用したりし、各技能に対して課題と視点を与える。生徒同士が見るポイントとして、①くずし②体さばき③タイミング④技のかけ方に重点を置く。視点を明確にし、活動を行うことで気づきが生まれやすく、互いに指摘し合ったり、伝え合ったりする活動を通して思考力・判断力が育成できると考える。

第二に、試合で使える技の習得を目指し、かかり練習や約束練習を充実させていくことである。相手の動きに応じて技をかけたり、連絡技を行ったりする時間を増やし、動きの中で技をかけることができるようにする。さらに、ICT 機器を活用して、正しい動作が行えているかの確認を行う場面を設定していく。

第三に、正しい知識や技能の習得、さらには柔道のもつ魅力に触れさせるため、T2、授業支援者、ゲストティーチャーと連携し指導にあたることである。柔道においては、体格の差や恐怖心から男女の差が大きく、一緒に組んで活動することが難しいため、T2 教員と役割を分担しそれぞれの指導にあたっていく。安全面を配慮し、段階的な指導を行っていくとともに、危険な動作や禁じ手を用いないなどの安全面の確保を十分に行う。本時はゲストティーチャーを迎え、連絡技を行うためのポイントを考えさせたい。実際に動きの手本を見たり、指導を受けたりすることで、技術の向上を図るとともに、柔道のもつ魅力に触れさせたい。

4. 単元の評価規準 ●第1学年の評価規準 ■第2学年の評価規準 ○第3学年の評価規準

| 運動への 関心・意欲・態度 | 運動についての 思考・判断 | 運動の技能 | 運動についての 知識・理解 |
|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ●禁じ技を用いないなど、安全に留意している。 ■柔道の活動に積極的に取り組もうとしている。 ■健康・安全に留意して活動している。 ①礼儀作法を重んじ、相手を尊重した伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ②自己の責任を果たし、仲間と協力して自主的に練習や試合に取り組もうとする。 ③互いに助け合い、教え合おうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけている。 ●練習を振り返り、課題を見つけている。 ■仲間に対して、技術的な課題や、課題解決に向けたアドバイスをしている。 ■学習した攻防の中から、自己に適した攻防を選んでいる。 ①提供された攻防の仕方から、自己に適した得意技や攻防の仕方を選んでいる。 ②技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●基本動作ができる。 ●受け身を安全に行うことができる。 ■基本となる技や、返し方、逃げ方、受け身ができる。 ①相手の動きに応じて、体さばきや相手を崩して投げることで、受け身ができる。 ②相手の動きの変化に応じて、基本となる技、得意技、連絡技のいずれかができる。 ③自己の能力に応じた得意技を身につけることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●柔道の礼儀作法などの基本動作や伝統的な行動の仕方を理解している。 ●基本となる技の名称や系統性について学習したことを言ったり書きだしたりしている。 ■柔道の特性や技能、行い方について、具体的に例をあげることができる。 ■試合におけるルール、審判法について理解したことを言ったり書きだしたりしている。 ■柔道に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | | <p>①柔道の特性や、練習方法（見取り稽古）について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②技の名称や行い方について、学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③試合の行い方や審判の仕方について、学習したことの具体例を挙げている。</p> |
|--|--|--|---|

5. 指導と評価計画（15時間）

（1）指導と評価計画

| 時間 | 学習のねらい | おもな学習活動 | 評価規準（評価方法） |
|----|---|---|---|
| 1 | <p>学習に積極的に取り組むことの重要性を理解する。</p> <p>ねらい1 基本動作、受け身、既習技の復習と、新しい技を身につける。</p> | <p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方を確認 ・評価の項目・内容・規準について ・ルールの確認 <p>後ろ受け身、横受け身の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習技の確認 | <p>柔道の特性や、練習方法（見取り稽古）について理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理①】</p> |
| 2 | <p>固め技のかけ方、逃げ方の技能を理解し、安全に留意して活動できる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・けさ固めの逃げ方・返し方 ・横四方固めの逃げ方・返し方 ・寝技の自由練習 ・既習技の確認 | <p>礼儀作法を重んじ、相手を尊重した伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</p> <p>【関・意・態①】</p> |
| 3 | <p>釣り込み腰の体さばき、崩し方、投げ方のポイントや、安全な受け身の仕方を知る。</p> | <p>釣り込み腰の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崩し方、体さばき ・投げ方、受け身の取り方 | <p>技の名称や行い方について学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】</p> |
| 4 | <p>背負い投げの体さばき、崩し方、投げ方のポイントや、安全な受け身の仕方を知る。</p> | <p>背負い投げの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崩し方、体さばき ・投げ方、受け身の取り方 | <p>技の名称や行い方について学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】</p> |
| 5 | <p>相手の動きに応じた投げ技の連絡を行うための方法を知ろう。①</p> | <p><2つの技を同じ方向にかける技> 大内刈りから小内刈りの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崩し方、体さばき ・投げ方、受け身の取り方 | <p>技の名称や行い方について学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】</p> |
| 6 | <p>相手の動きに応じた投げ技の連絡技を行うための方法を知ろう。②</p> <p>ねらい2 既習技を高め、連絡技を身につける。</p> | <p><2つの技を違う方向にかける技> 釣り込み腰から大内刈りの習得</p> | <p>技の名称や行い方について学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】</p> |

| | | | |
|-----------|---|---|---|
| 7 (本時) | 投げ技の連絡を行うポイントを考える。 | 連絡技の練習 ・崩し方, 体さばき ・投げ方, 受け身の取り方 | 技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけている。 【思・判②】 |
| 8 | 相手の動きに応じた投げ技の連絡技ができる。 | 連絡技の練習 ・かかり練習 ・約束練習 | 相手の動きに応じて体さばきや相手を崩して投げること, 受け身ができる。 【技①】 |
| 9 | 学習した技の中から自分の能力に応じた得意技を見つけることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ねらい3 相手の動きに応じて得意技や連絡技を用いて練習や試合ができるようにする。</div> | ・既習技のポイントの確認 ・かかり練習 ・約束練習 ・自由練習 | 提供された攻防の仕方から, 自己に適した得意技や攻防の仕方を選んでいる。 【思・判①】 |
| 10 | 動きの中で自己の能力に応じた得意技を使うことができる。 | グループ学習 (既習技の確認) ・かかり練習 ・約束練習 ・自由練習 | 互いに助け合い, 教え合おうとしている。 【関・意・態③】 |
| 11 | 相手の動きや技に応じて自己の能力に応じた得意技を使うことができる。 | グループ練習 ・かかり練習 ・約束練習 ・自由練習 | 自己の能力に応じた得意技を身につけることができる。 【技③】 |
| 12 | 得意技を磨くことができる。 | グループ練習 ・かかり練習 ・約束練習 ・自由練習 | 自己の責任を果たし, 仲間と協力して自主的に練習や試合に取り組もうとする。 【関・意・態②】 |
| 13 | 試合における正式なルールを確認し, 審判の仕方や運営の方法を知る。 | グループ練習 ・かかり練習 ・約束練習 ・試合 (団体戦) | 試合の行い方や審判の仕方について, 学習したことの具体例を挙げている。 【知・理③】 |
| 14 | 簡易試合をとおして単元の成果を確認する① | ・かかり練習 ・約束練習 ・試合 (個人戦) | 相手の動きの変化に応じて, 基本となる技, 得意技, 連絡技のいずれかができる。 【技②】 |
| 15 | 簡易試合をとおして単元の成果を確認する② | ・かかり練習 ・約束練習 ・試合 (個人戦) | 礼儀作法を重んじ, 相手を尊重した伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 【関・意・態①】 |

(2) 指導内容及び学習活動に即した評価基準 (第3学年 武道：柔道)

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能 | 知識・理解 |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重する態度 ・勝敗にかかわらず相手に敬意を払うこと ・礼にはじまり、礼に終わる伝統的な行動の仕方を自らの意志で大切にしていこう伝える。 | <p>学習した技の中から自己に適した攻防を選んだり、組み合わせたりする場の設定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作と受け身(後ろ受け身, 横受け身) ・相手の動きの変化に応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくる崩し | <ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重すること ・礼法やマナーを重視すること ・見取り稽古は、武道特有の練習方法であり、他人の稽古を見て学ぶ有効な手段である。 |
| <p>①礼儀作法を重んじ、相手を尊重した伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</p> | <p>①提供された攻防の仕方から、自己に適した得意技や攻防の仕方を選んでいる。</p> | <p>①相手の動きに応じて、相手を崩して投げること、体さばきや受け身ができる。</p> | <p>①柔道の特性や練習方法(見取り稽古)について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> |
| <p>グループ内で助け合い、教えあうことによって、技能の向上や自分自身の意欲向上につながることを伝える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習する技の動きの説明やポイントの提示 ・練習方法の提示 ・視覚的教材の使用 ・ペア, グループ学習 ・ワークシートの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・体さばきと関連づけた受け身 ・動きの中でかける技と受け身 ・投げ技の連絡 | <ul style="list-style-type: none"> ・技の名称の確認 ・技を身につけるための技術的なポイントの確認 ・ワークシート, 視覚的教材の活用 |
| <p>②自己の責任を果たし、仲間と協力して自主的に練習や試合に取り組もうとする。</p> | <p>②技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけている。</p> | <p>②相手の動きの変化に応じて、基本となる技, 得意技, 連絡技のいずれかができる。</p> | <p>②技の名称や行い方について、学習したことを言ったり書き出したりしている。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の練習相手を引き受けたり、アドバイスをしたりするなど、学習課題の解決に向けて仲間の学習を援助できるようにする。 ・グループ学習 ・ペア学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、自分の動きや手本となる動きを客観的に見る場の設定 ・かかり練習 ・約束練習 | <p>③自己の能力に応じた得意技を身につけることができる。</p> | <p>試合におけるルール, 審判の仕方の説明</p> |
| <p>③互いに助け合い、教え合おうとしている。</p> | | | <p>③試合の行い方や審判の仕方について、学習したことの具体例を挙げている。</p> |

6. 本時の学習（7 / 15 時間）

(1) 本時のねらい 投げ技の連絡を行うポイントを考える。

(2) 本時の展開

| 過程 | 学習活動 | ○教師の支援 ★評価の視点〔観点〕(方法) ■留意点 |
|-----|---|--|
| はじめ | 1. 走力トレーニング 2. 集合, 整列, 挨拶, 健康観察 3. 準備運動, 体力を高める運動 (倒立) 4. 回転運動 5. ペアでの受け身 6. 本時のねらいと学習内容を確認する。 | ○正しく安全に行えるように個別指導する。 (T1, T2, T3) ○苦手な生徒に対して段階的にステップアップできる方法を指示していく。 (T1, T2, T3) ○本時のねらいを説明し, 徹底を図る。(T1) |
| なか | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 大内刈りで投げるためのポイントを考えよう！ </div> 7. 連絡技を行うポイントを確認する。 8. 大内刈りで投げるためのポイントを考える。 9. グループ学習 (3人組) ・かかり練習 ・くずしと体さばきのポイントを見つける。 ・技をかけ合いながら, 大内刈りで投げるポイントについて話し合う。 | ○試合の映像を見ながらポイントの説明を行う。 (T1, T4) ○連絡技のポイントの説明を行う。(T1, T4) ■学習した技のみを使用させる。 ■学習カードを用いポイントを記入するよう促す。 ■くずし, 体さばきを意識し練習を行うよう促す。 ■受けの役割を確認する。 ○連絡技を行うポイントを確認しながら随時師範を行う。(T4) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> ★技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけている。(ワークシート)【思・判②】 </div> ○安全にできるよう個別指導する。(T1, T2, T3) ○活動の様子をみながら声かけ等をする。(T1, T2, T3) |
| まとめ | 10. 本時の学習を振り返り, 次時の活動への見通しをもつ。 ・動きに応じた技を成功させるポイントの確認 ・本時の学習の記録 ・健康観察と次時の連絡 11. 挨拶, 解散 | ○学習カードを使い, 効果的に振り返りをさせる。 ○連絡技 (例) の提示を行う。 ○映像で確認する。 ○次時の学習計画を確認し, 見通しをもたせる。(T1) |

(3) 道徳との関連 C-(16) 「郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度」, B-(6) 「思いやり, 感謝」

(4) 本時の具体的な評価

| 十分満足できると判断される生徒の具体例 | 概ね満足できると判断される生徒の具体例 | 支援を必要とする生徒への指導の手立て |
|--|---|---|
| 大内刈りで投げるために必要なポイント (くずし, 体さばき) を考え, 友達の動きにアドバイスをしたり学習カードに書き出したりしている。 | 大内刈りで投げるために必要なポイント (くずし, 体さばき) を考え, 言ったり書き出したりしている。 | 連絡技について, 丁寧に解説指導するとともに, 実際の練習場面において, 見本を示すことで考えが深まるようにする。 |

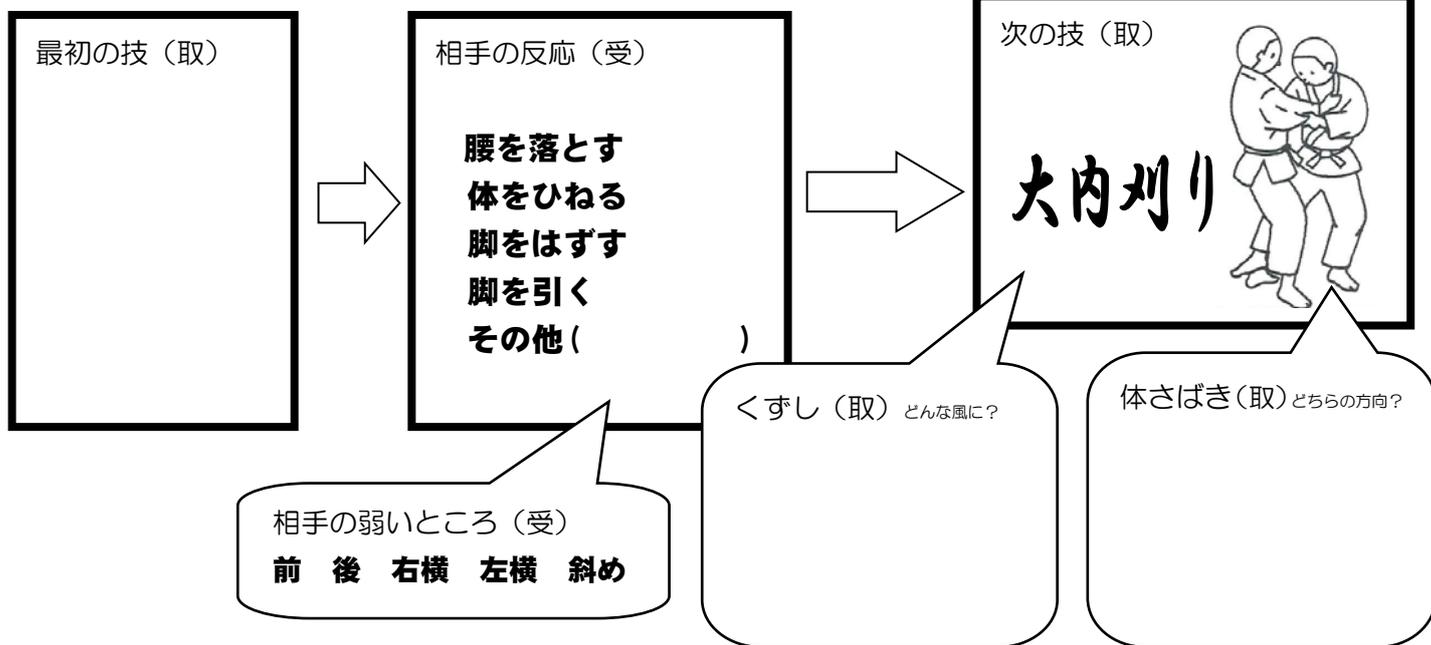
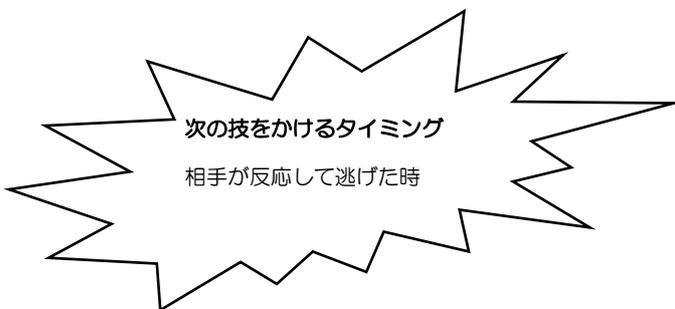
(5) 協議の視点

投げ技の連絡を行うためのポイントを見つける場面設定は, 生徒の理解を深めるために効果的であったか。

| | |
|---------|--|
| 共通めあて | 大内刈りで投げるためのポイントを考えよう！ |
| 今日の学習内容 | <ul style="list-style-type: none"> • 本時の目標の確認 • 準備運動 • グループ学習 |



**大内刈りで投げるためには
どうしたらいいだろう…??**



| | |
|--|--|
| <p>今日の振り返り 気づいたこと、学んだこと</p> | |
|--|--|

| | | | | | |
|------|-------------------|---|---|---|---|
| 自己評価 | 目標が達成できた | A | B | C | D |
| | 礼儀作法を守ることができた | A | B | C | D |
| | 安全に注意して活動することができた | A | B | C | D |
| | 意欲的に授業に取り組めた | A | B | C | D |
| | 学習内容を理解することができた | A | B | C | D |
| | 学習内容をみにつけることができた | A | B | C | D |
| | 仲間と協力して取り組むことができた | A | B | C | D |

A : できた B : 少しできた C : あまりできなかった D : できなかった